

人文学・社会科学の振興に向けた当面の施策の方向性について

(令和5年8月30日 科学技術・学術審議会学術分科会人文学・社会科学特別委員会)

○ 基本的な方針

「第6期科学技術イノベーション基本計画」「骨太の方針2023」「統合イノベーション戦略2023」等を踏まえ、以下の取組を推進

- ① 人文学・社会科学が主体となって共同型研究を行う、学術知の共創と総合知の創出に資する取組の推進
- ② 良質な学術データの整備による最先端のデータ駆動型研究、AI駆動型研究の実施など、人文学・社会科学における研究DXの推進
- ③ 人文学・社会科学の総合的・計画的な振興に向けたモニタリング指標の開発とモニタリングの実施

○ 方針に係る取組の進捗状況

① 人文学・社会科学が主体の「共創型」プロジェクト研究の推進

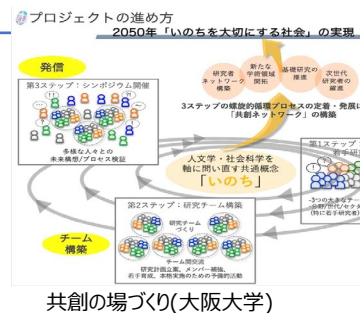
- ・ 研究課題づくりやチームづくりに向けた共創の場の整備(文部科学省モデル事業)
- ・ 日本学術振興会(JSPS)による学術知創出に向けた共同研究プログラムの推進

② 研究DXに向けた基盤開発・整備

- ・ JSPS「人文学・社会科学総合データカタログ」(メタデータプラットフォーム)の整備
- ・ 人間文化研究機構「NihūBridge」(人文系学術資源のポータルサイト)の運用
- ・ 国文学研究資料館による古典籍30万点の画像化(「国書データベース」)など、データ化・データ利活用に係る学術機関の先導的取組の推進

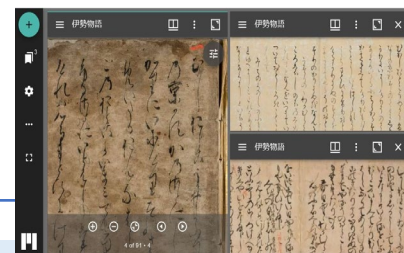
③ 我が国の人文学・社会科学の研究動向に係るモニタリングの開発

- ・ 本委員会において「人文学・社会科学の研究成果のモニタリング指標について」(R5.2)をとりまとめ、国際ジャーナル論文、国内ジャーナル論文等を対象としたモニタリング実施や書籍に係るモニタリング指標の開発等を提言



人文学・社会科学総合データカタログ「JDcat」(JSPS)

国書データベース
(国文学研究資料館)



○ 課題及び今後の取組

① 人文学・社会科学が主体の「共創型」プロジェクト研究の推進

- ・ 共創の場の整備にあたり、共同研究のチームマネジメント方法、マネジメント人材の確保、研究者のマッチングなどに課題。人文学・社会科学の学術的進展・総合知の創出に向けた、共創型プロジェクト研究の更なる推進に向けて、モデル事業の検証を進める。併せて、プロジェクト型研究の成果の把握や可視化について検討を進める
- ・ JSPSによる共同研究プログラムを引き続き推進。人文学・社会科学は、意味や世界を探究する学問であり、実社会との関わりを有する、本来的に実践的な性格をもつもの。今後、グローバル・イシューと日本社会、AIと人類・社会など、現代的課題に係る研究の推進にも期待

② 研究DXに向けた基盤開発・整備

- ・ JSPSにおける人文学・社会科学系のメタデータに係るデータカタログの整備は社会科学を中心に進展。更なる分野の拡充や利活用の促進が必要
- ・ 人文系学術資源のデータ化にあたっては、多様な資料特性を踏まえたデータ規格の整理・調整や、データ構築・データ利活用に通じた人材確保が課題。国際的に人文学研究のデジタル化(デジタル・ヒューマニティーズ)が進展する中、先導的な取組を推進するとともに、関係機関による協働体制を構築してデータ規格等の基盤開発、データ構築等に通じた研究者の育成が必要

③ 我が国の人文学・社会科学の研究動向に係るモニタリング指標の開発

- ・ 人文学・社会科学の研究成果として大きな役割を果たす「書籍」や社会的インパクトに関する指標等について開発を進める

※ 共創型プロジェクト研究の更なる推進方策、データ基盤を支える人材の育成やデータ利活用の促進、研究成果の可視化や国際発信力の強化等の論点について引き続き検討